

たかまつ市議会 レポート



冬

号

令和元年
12月定例会

令和2(2020)年
1月15日 発行
(第194号)

高松第一高等学校生徒と 高松市議会議員による意見交換会

令和元年10月4日及び11月18日に一高生の皆さんと意見交換会を開催しました。

いただいた御意見は、これからの高松市を担う若い世代からの貴重な御意見としてしっかり受けとめ、政策提言に反映させていきたいと考えております。

～高松市の未来を話そう！
高松第一高等学校生徒と
高松市議会議員による意見交換会～

目次

代表質問・質疑…2～4

一般質問ほか…5～7

情報BOX…8

令和元年第5回高松市議会定例会は、12月4日から12月19日までの16日間の日程で開かれました。

【今定例会に提出された議案等】

- ・市長提出議案 32件
- ・議員提出議案 5件
- ・陳 情 1件



詳しい情報は高松市議会ホームページへ

代表質問

質問者

質問の主な内容

自民党議員会

佐藤好邦



政治姿勢、行財政、まちづくり、防災、文化芸術、産業振興、福祉、環境、教育

公明党

春田敬司



財政運営、まちづくり、防災、総合事業、創造都市、公共工事、再生可能エネルギー、若竹学級・青峰学級

市民フォーラム21

大西 智



政治姿勢、行財政、まちづくり、防災、公契約、子育て支援

同志会

妻鹿常男



人口減少、養育費、防災、屋島、子供の貧困、不妊治療、マイナンバーカード、環境、教員の働き方改革



政治姿勢

次期たかまつ創生総合戦略策定に向けて

【問】市民、特に若者の意見を、次期戦略の策定にどのように生かし、反映させるのか。

【自民党】学生と市長との意見交換会についての所感と次期戦略策定に向けた決意は。

【市・ラ民】次期戦略策定を通し、若い世代が魅力を感じ、地元で住み続けたいと思えるまちづくりに、どのように取り組むのか。



学生と市長との意見交換会

【答】子育て世代や大学生等を対象とした意見交換会を開催し、本市の取り組みや地元企業の魅力を広くアピールすることが重要である

と実感した。

次期戦略において「地域共生社会の推進」「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」「スマートシティの推進」に関する施策を柱に、若者が魅力を感じる働く場の創出や、誰もが活躍できる環境整備に留意するなど、若者から選ばれるまちづくりに取り組む。

自治会の再生・活性化

【問】自治会の在り方等検討プロジェクトチームの最終報告書を踏まえ、本市として自治会再生・活性化に向けて積極的に取り組む考えは。

【自民党】

【答】同報告書は、自治会の諸課題を分析・整理した上で、地域自らが魅力ある自治会を目指す指針となるものであり、改めて自治会の再生・活性化への思いを強くした。これまでの取り組みに加え、今後、提言を踏まえた有効な施策に、地域とともに積極的に取り組む。

LGBTパートナーシップ
宣誓制度導入による
共生社会の実現

【問】LGBTパートナーシップ宣誓制度の導入を機に、共生社会及び、誰ひとり取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現する決意は。

【市・ラ民】

【答】同制度は、一方または双方が性的少数者であるカップルが、お互いを人生のパートナーとして継続的な共同生活を行うことを約した関係であることを宣誓し、市がそれを公的に証明するもので、令和2年4月1日から導入する。

今後、全ての人が自分らしく生きることができるよう、共生社会の実現に、より積極的に取り組む。



行財政

新年度予算編成における
財政健全化への取り組み

【問】来年度予算編成において、自主財源の積極的な確保や、事業の選択と集中により、財政健全化に向け取り組む考えは。

【自民党・市・ラ民】

【答】来年度、約78億円の財源不足額を見込む危機的状況を踏まえ、歳入では、将来的な税収増につながる企業誘致や企業立地に取り組み

むほか、未利用地の売却、ネーミングライツ、ふるさと納税の活用など、新たな財源の獲得を目指す。

一方、歳出では、スクラップ・アンド・ビルドの徹底や、これまで以上の大幅な事務事業の見直しにより財源を捻出し、真に必要で緊急度の高い事業を重点化する。

今後の国の地方財政対策や税収等の状況を見きわめながら、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組む。

財政状況の分析による
歳出改革

【問】本市の目指すべき都市像を市民と共有するためにも、より細やかな財政状況分析に基づき、歳出改革を行う考えは。

【公明党】



【答】本市は、他の中核市に比べ、人件費の割合が相対的に高い状況が続いており、今後、会計年度任用職員制度の導入により、多額の財政負担が見込まれる。財政状況を分析しながら、

RPAの活用などの業務改善による人件費の縮減を初め、さらなる行財政改革を推進する。

公共交通を基軸としたまちづくり

【問】公共交通を基軸としたまちづくりについて市民と一緒に考え、理念を共有するとともに、財源を確保する考えは。

【公明党】

【答】公共交通を基軸としたコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりは、市民と、理念や必要性を共有し、理解と協力を得て、効果的な施策・事業を推進することが肝要である。

今後、新技術導入も含めた公共交通の利便性向上のために、さらなる安定的な財源確保に留意し、着実に取り組む。

ふるさと納税制度の転入者への周知

【問】自分を育んでくれた故郷に、寄附という形で貢献できる、ふるさと納税制度について、進学や就職で市外に転出する若者などに伝える取り組みは。

【市・民】

【答】現在、新成人に送る記念パンフレットに同制度を掲載することで、周知を図っているが、今後、若者を

含めた転出手続きを行う方に周知チラシを配布するなど、引き続き本市を応援していただけのような取り組みを推進する。

マイナンバーカードの交付率向上

【問】マイナンバーカードの活用促進が進められる中、交付率向上に向けた今後の取り組みは。

【同志会】

【答】イベント等で利便性・安全性について周知するとともに、企業や団体等に市職員が出向き、申請を受け付けるほか、市民サービスセンターでの顔写真撮影及びオンライン申請の支援を行っている。

交付率向上には、申請手続きの負担軽減が重要であるため、今後も、受付サービスの充実や、申請・交付窓口の拡充に努める。



まちづくり

基隆市との産業交流に向けた今後の取り組み

【問】台湾・基隆市との都市間交流の盛り上げをチャンスと捉え、産業交流に進展させるための今後の取り組みは。

【議員会】



高松の台湾夜市2019in北浜アリー

【答】台湾グルメや雑貨の紹介等を行う「高松の台湾夜市」の開催など、都市相互における交流や、県等による台湾での商談会の開催などにより、台湾における民間事業者のビジネス展開も着実に推進されている。

基隆市は、台湾で2番目の貨物取扱量を誇る港を抱え、貿易・物流の重要拠点であるため、さまざまな機会を捉えながら、産業交流につながる方策を検討する。

四国新幹線の早期実現

【問】経済効果や定住人口の拡大が期待でき、四国地方の発展に必要不可欠な四国新幹線の整備計画への格上げに向け、どのように取り組むのか。

【議員会】

【答】新幹線は、高速道路と並ぶ重要な社会経済基盤であり、地域経済の活性化や

観光振興を図る上で有効な手段であることをPRして、整備に向けた市民の機運を醸成するとともに、これまでに以上に関係各所と連携し、国への要望活動等に取り組む。

国道193号（脇町・塩江間）整備促進

【問】美馬市と本市をつなぐ国道193号脇町・塩江間の整備促進に向けた取り組みは。

【議員会】

【答】塩江地域の温泉や自然を生かした観光を初め、徳島県から高松空港へのアクセスが向上し、交流人口の拡大に資するなど、経済効果も期待できることから、安定的な財源確保や早期の改良が図られるよう、沿道関係自治体が一致団結して国や県に要望活動を行うなど、整備促進に取り組む。

屋島山上駐車場の混雑緩和

【問】屋島活性化の取り組みが進む中、山上でのイベント開催時の駐車場混雑への対応と、立体駐車場整備を含め駐車場を拡充する考えは。

【同志会】

【答】駐車場出口の自動ゲートを取り外し、係員が直接料金徴収等を行うなど

混雑緩和に向け取り組んでおり、引き続き円滑な交通処理に努める。

屋島山上での施設整備は、各種の規制があるため、まずは公共交通の有効活用や情報発信のあり方を検討するとともに、平面駐車場の拡充や立体駐車場の整備などの可能性を探る。



防災

国土強靱化地域計画の策定

【問】大規模な自然災害でも、最悪な事態を避けられる強靱な行政機能や地域社会・地域経済を事前につくり上げるための指針となる、国土強靱化地域計画の策定見通しは。

【議員会】

【答】令和3年度から、同計画に盛り込まれた事業が国の補助金等の対象となる方針を受け、関係局長で構成する計画策定委員会を設置しており、2年7月末を目途に策定を進める。





文化・芸術

芸術士派遣事業の
今後のあり方

【問】芸術を感じ、表現する大切さを育むことにつながる芸術士派遣事業について、保護者や保育士等との理念の共有化が不十分で、施設が希望する頻度にも応えられていない状況を踏まえた、今後の事業のあり方への考えは。

【公明党】



芸術士派遣事業

【答】子供たちが芸術に触れる機会を提供し、ともに創作活動に励む意義深い取り組みであるものの、事業開始から10年経過し、さまざまな課題が生じている。今後、これまでの検証と、



環境

再生可能エネルギーの
利用促進

【問】ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化対策に効果が期待されている、地中熱に係る認知度向上や普及を図るなど、再生可能エネルギーの利用を促進する考えは。

【公明党】

【答】地中熱は、導入費用等の課題があるものの、天候や地域に左右されない安定性があるため、認知度向上に努める。今後、新たな地域資源の利活用の可能性を探るとともに、国の補助制度や企業の先進事例を市民・事業者へ情報提供するなど、再生可能エネルギーのさらなる利用促進を図る。



福祉・教育

生活保護受給世帯の
子供の健康維持

事業主体の意見や保護者等のニーズを把握した上で、厳しい財政状況も勘案して、事業のあり方や効果的な実施方法を検討する。

【問】生活保護受給世帯の子供が、アレルギーや歯の病気になる割合が高いという研究結果を踏まえた今後の対応は。

【同志会】

【答】次世代への不健康な連鎖を断ち切るため、当該世帯の子供に対して、健全な生活習慣の確立や健康増進に対し支援を行うことは重要である。

今後、乳幼児健診と生活保護の情報の連携により、支援が必要な子供を特定し、医療機関への受診奨励や生活環境改善の助言を行うなど、有効な手法を検討する。

学校の防災力向上

【問】大川小学校津波訴訟の最高裁判決を受けた、学校の防災の今後の取り組みは。

【議員会】

【答】全ての市立小・中学校では、年2回以上の避難訓練や危機管理マニュアルの定期的な見直しを行っている。

また、学校だけでは限界があるため、地元消防署など関係各所との連絡・協力体制を構築・整備し、より実効性のある防災訓練の実施や防災教育の充実に努める。

る。

学校に期待される役割を重く受けとめ、さまざまな災害から子供たちの命を守るための最善の方策を考え、実践していく。

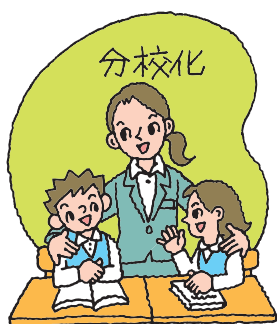
若竹学級・青峰学級の
教育環境の向上

【問】下笠居小・中学校に設置されている、児童心理治療施設に入所中の児童生徒が通う、若竹学級・青峰学級の教育環境を向上させるため、分校化に向けて取り組む考えは。

【公明党】

【答】施設内学級である限り、さらなる教育環境の向上は困難である。

分校化により、施設整備や教職員数の増加が見込めるため、現在、設置法人に校舎等の整備を依頼しており、その回答を待って、ワーキンググループを組織し、検討する。



分校化

太田安由美市民派改革ネット

特別職の期末手当

【質】厳しい財政状況の中、市長や議員等の期末手当を引き上げる根拠は。

【答】特別職の期末手当は、国の指定職員の期末手当に準じて所要の措置を講じることが適当とする国からの通知に沿って、引き下げる場合も含め、改定を行うべきものと考えており、その改定に準拠して、支給割合を引き上げる。

【他】マイナポータル、屋島山上施設、広報たかまつ、競輪場、非常勤職員

岡田まなみ（日本共産党）

会計年度任用職員

【質】会計年度任用職員の給与体系について、勤続年数を加味する考えは。

【答】職務内容に応じた給与等のほか、期末手当等の各種手当、さらに、フルタイム勤務職員には退職手当を支給する。

また、資格等を有する一部の職員は、専門性を考慮し、職務の経験年数に応じて加算する。

【他】特別職の期末手当

質疑

鳥獣被害防止



中村伸一
(公明党)



他 ヘアドネーション、観光

答 来年度中の運用開始を予定する同システムを、通常時も活用できるように検討しており、ICT活用による地域課題の迅速な情報収集と対応を実現し、市民サービスの向上を図る。

問 災害時の被害情報をスマートフォンから収集し、地図上で見える化するシステムを、通常時の道路破損の情報収集にも活用する考えは。

ICTを活用した情報収集



橋本浩之
(自民党議員会)

問 鳥獣被害防止計画に基づく12年間にわたる対策の成果と、次期計画における考えは。



答 捕獲・防護・環境整備等の被害防止対策を講じた結果、最も深刻なイノシシによる農業被害は、ピーク時より面積で半分以下、金額で約3分の1に減少している。

次期計画では、イノシシが頻繁に市街地に出没していることや狩猟免許保持者の高齢化の現状を踏まえ、被害防止に積極的に取り組む。

他 健康都市、指定管理者、防災・減災、音楽

多胎児家庭の支援



中西俊介
(市民フォーラム21)

問 双子や三つ子など多胎児を産み育てる家庭の置かれた状況や負担等への認識は。



幼保施設の専用駐車場確保



北谷悌邦
(同志会)

問 鬼無保育所・幼稚園に通う子供たちを安心・安全に送迎するため、専用駐車場等を確保する考えは。



答 単体児と比べ、身体的・精神的・経済的な負担が大きいことに加え、外出が困難で、社会から孤立しやすいなど特有の課題がある。

妊娠中から出産や育児に役立つ情報の提供と、関係機関と連携した切れ目のない支援を行うことが重要である。

他 風疹予防接種、不妊治療



答 建設工事の入札は、電子入札であり、秘匿性は保たれ、一者でも競争性は確保されているため、一者入札を原則無効とする考えはないが、応札可能業者数を丁寧に確認する等、工事品質と競争性の確保に留意し、適正な入札の執行に努める。

他 幼保無償化、野焼き

問 建設工事の入札に一者しか参加しない場合は、競争原理が働く余地がなく、落札率も高い傾向にあるため、入札の破綻と認識し、原則無効とする考えは。

一者入札の見直し



植田真紀
(市民派改革ネット)

答 施設内専用駐車場が整備されておらず、近隣の民間企業の駐車場を厚意で利用させてもらっているため、今後、周辺の土地を調査し、その確保に努める。

他 防災重点ため池、PTA支援、観光、ハラスメント

特定・若年健診の自己負担



藤沢やよい
(日本共産党)

問 健診受診率の向上や病気の早期発見・早期治療のためにも、40〜74歳を対象とする国保特定健康診査と、来年度から実施予定の35〜39歳を対象とする若年健康診査の自己負担金を、加入者全員無料とする考えは。

答 より受診しやすい環境の整備や、若年期からの受診習慣及び健康意識の醸成のため、いずれも無料とする方向で検討している。

他 浸水対策



香川洋二
(無所属)

動物と触れ合える施設整備

問 未来を担う子供たちが命の教育を受けられるよう、動物と触れ合える施設を整備する考えは。

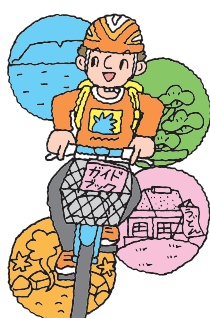
答 用地の選定や、厳しい財政状況から、直ちには難しく、中長期的な希望と位置づけざるを得ない。
人と動物との調和がとれた共生社会を目指し、触れ合い体験イベント等を通じて、命を大切にする、思いやりの心の醸成に努める。
他 教育、高松市美術館



山下 誠
(自民党議員会)

サイクルツーリズムの推進

問 地域の活性化など経済効果が期待できるサイクルツーリズムを推進するため受け入れ態勢を改善する考えは。



答 自転車を利用する観光客が快適に市内を周遊できるように、観光地をめぐるモ

デルコースや沿線の飲食店、休憩場所として利用可能な公共施設等を紹介するなど、さらなる情報提供に努め、安全で快適な環境整備に積極的に取り組む。
他 再生可能エネルギー、学校体育館、まちづくり



斉藤 修
(自民党議員会)

街路樹の維持管理予算

問 街路樹の適切な管理を行わなければ、道路浸水などの被害の要因にもつながるが、マイナスイーリングの中、その維持管理に係る予算配分の考えは。

答 街路樹の維持管理も含め、災害の未然防止に係る予算配分については、予算に限りがあることを前提としながらも、その仕組みの見直しの中で、課題の一つとして検討する。
他 子供の成長支援、有害鳥獣被害対策、野良猫対策、マイナンバーカード



田井久留美
(公明党)

食物アレルギー対策

問 避難所における食物アレルギー対応食品の活用と、誤食防止への取り組みは。



答 避難者用備蓄食料のうち、アルファ米と粉ミルクはアレルギー対応のものを備蓄しており、災害時指定職員に用途や目的を指導する。

また、誤食防止のため、対象者の把握や提供する食事の原材料表示を避難所運営マニュアル作成の手引書に盛り込み、食物アレルギーのある避難者が安心できる環境づくりに取り組む。
他 子育て支援、野焼き



富野和憲
(市民フォーラム21)

インクルーシブ教育の充実

問 障害の有無にかかわらず

ず、全ての子供がともに学ぶことができるインクルーシブ教育を充実させる新たな施策は。

答 今年度、学習・生活上困難のある子供を対象に、短期で個別指導を行うアシスト教室を開設し、多様な学びの場の充実を図った。
来年度には、ユニバーサルデザインフォントを導入し、学校の配付物等への積極的な使用を推奨するなど、誰もがわかる授業づくりに努める。
他 防災、職員、英語教育



天雲千恵美
(同志会)

夜間中学の設置

問 義務教育未修了者、外国籍の方や不登校等さまざまな事情により十分な教育を受けられなかった方々のために、夜間中学を設置する考えは。

答 県教育委員会に対し、設置検討を依頼している。

現在、県では、国や他県の動向も踏まえる中、夜間中学の二ス把握調査を実施しており、今後、調査結果を踏まえ、設置の是非等を協議する。
他 菊池寛記念館、中央公園



太田安由美
(市民派改革ネット)

災害時の個別支援計画策定

問 高齢者等要支援者のスムーズな避難に有効な個別支援計画策定の課題と、策定率向上への取り組みは。

答 地域における計画策定のノウハウや人材不足が課題となっている。

今後、計画策定が進んでいない地域を中心に、その重要性を周知するとともに、地域の防災研修会等に職員を派遣し、丁寧な説明や助言に努める。
他 気候変動、動物福祉



問 校区内保育施設への入所希望の5歳児が、就学希望の小学校区内にある保育施設に入所できないケースの有無と、希望に添えなかった保護者への対応は、校区内の優先入所制度



答 アンケートの分析結果を初め、施設の状態、利用者数の推移、公共施設の適正配置等を総合的に勘案した結果、現状のまま継続するものの、安全確保上または運営上支障のある修繕が必要になれば廃止する。他オスプレイ、児童扶養手当

市民プールの存続
問 親子がともに楽しめる市民プールを存続させる考えは。



問 瀬戸・高松広域連携中核都市圏の市町など、周辺自治体と連携し、AI等の共同利用を推進する考えは。

答 LINEを活用した、地図上への災害情報の見える化など、実証事業の効果をも十分検証した上で、ICTやAI等の広域での共同利用を推進する。



は設けておらず、他校区の施設に入所するケースもある。希望に添えない保護者に対しては、比較的、受け入れ枠に余裕のある校区内の幼稚園や認定こども園の利用も選択肢として周知する。他都市像、創造都市、みんなの病院

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では審議の結果、議案等のうち24件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件 名		議決 結果等	会派別賛否						
			自民党 議員会	公明党	市 民 フォーラム21	同 志 会	日 本 共 産 党	市 民 派 改 革 ネット	無 所 属
市長提出 議 案	令和元年度高松市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	令和元年度高松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	令和元年度高松市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市職員の分限に関する手続及び効果等に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市立学校会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	高松市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	工事請負契約について(史跡高松城跡桜御門復元整備工事)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	工事請負契約について(香南町北部団地建設工事(2期))	可決	○	○	○	○	×	○	○
	令和元年度高松市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	令和元年度高松市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市長等の給料その他給与支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	×	○
	高松市職員の給与に関する条例及び高松市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○
	平成30年度高松市一般会計・特別会計歳入歳出決算について	認定	○	○	○	○	×	×	○
	平成30年度高松市病院事業会計決算について	認定	○	○	○	○	×	×	○
議員提出 議 案	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書	否決	×	○	○	×	○	○	×
	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書	否決	×	○	○	×	×	○	×
	女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書	否決	×	×	○	×	○	○	×
	生態系への影響が指摘されているネオニコチノイド系農薬の規制を求める意見書	否決	×	×	×	×	○	○	×
	激甚化する自然災害と防災対策への予算の抜本的増額を求める意見書	否決	×	○	○	×	○	○	×
陳 情	「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減措置廃止」を求める自治体意見書採択についての陳情	不採択	×	×	○	×	○	○	×

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

市民との意見交換会を実施しました！

11月19日(火)、4つの常任委員会が、それぞれ調査研究しているテーマを題材に、市民との意見交換会を開催しました。

参加者からの、よりよいまちづくりにつながる積極的な意見を踏まえて、今後、各常任委員会において、提言として取りまとめ、市政に反映させていきます。

各常任委員会に分かれての意見交換



総務 テーマ ICTを活用したまちづくり



●主な意見・感想

- ・医療分野でのさらなるICTの活用や人材の育成を推進してほしい。
- ・全国的にも進んでいるスマートシティの取り組みをもっと議論したかったので、これからも定期的の実施してほしい。

教育民生 テーマ 不登校を生まないための学校と地域のつながり



●主な意見・感想

- ・地域でさまざまな体験や経験ができる機会をふやし、先生も地域と一緒に子供を育てる意識の醸成に努めてほしい。
- ・不登校でもさまざまな居場所が選択できるよう、学校・地域・PTA・行政の連携が望まれる。

経済環境 テーマ 就職時に地元に戻る働く場の確保



●主な意見・感想

- ・災害が少なく住みやすいので、防災に特化した企業誘致を推進してほしい。
- ・赤ちゃんから高齢者まで、住んでいる住民を初め、観光客にとって魅力があるまちにしてほしい。

建設消防 テーマ 雨に強いまちをつくるためのソフト対策



●主な意見・感想

- ・防災まち歩きなど、地域住民による子供たちへの危険個所の周知が大切ではないか。
- ・集中豪雨がふえる中、河川清掃や、川幅の拡幅などの予算は必要で、過去の台風災害などを教訓に、安心安全のまちづくりのために改善してほしい。